

尾道式空き家再生術と 斜面地への若い移住者の集積

瀬戸内海のおだやかな海と山々に囲まれ中世からの町並みを残す、尾道。車両が入らないが故にユニークな環境を残す山手地区ですが、現在、空洞化と高齢化が進み、空き家が数多く存在しています。尾道空き家再生プロジェクトではそれらの空き家を再生、新たな活用を模索し、尾道らしいまちづくりを展開しています。

NPO法人 尾道空き家再生プロジェクトの新田氏からは、空き家の再生事業から再生物件（ゲストハウス等）の運営、空き家バンクの現状などをお話いただきます。

広島県大阪情報センター長の望月氏からは、新田氏の報告を踏まえ、観光面から復活しつつある尾道を象徴する中心市街地への若い移住者に着目しその集積の実態や特徴を紹介いただきます。

令和元年 **8月9日（金）**

18:30～

定員先着30名・参加費無料

講師 **新田悟朗氏** ・ **望月徹氏**

NPO法人 尾道空き家
再生プロジェクト専務理事

広島県大阪情報センター 所長



会場:アルパック大阪事務所 大会議室

※18時以降はビル北側の通用口からお入りください。

申込方法
弊社ホームページ若しくは下記URLの申込フォームから**8/5（月）**までにお申し込み下さい。
右QRコードよりフォームのURL取得可能です。
<http://bit.ly/3092gbl>



※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、rojiokusalon.arpak@gmail.com までメールして下さい。

新田氏プロフィール

1985 年尾道市生まれ。2010 年和歌山大学大学院システム工学研究科デザイン科学クラスター卒業。学生時よりプロジェクトに関わり、2010 年より専任。空き家バンク担当。成約数は 9 年間で 90 件。プロジェクトの企画・デザインから施工、改修後の運営・マネージメントの他、移住者の住宅や店舗におけるリノベーションのサポートなど移住支援を行う。主な再生物件に、尾道ゲストハウス「みはらし亭」・「あなごのねどこ」、「三軒家アパートメント」等。2019 年 7 月より「松翠園大広間」を運営開始。

望月氏プロフィール

（瀬戸内海の島生まれ）

1982 年 4 月～ 広島県入庁（林務部林産課主事）→広島県税務所
→高齢者対策課
1989 年 4 月～ 広島県東京事務所（伊藤忠商事（株）派遣）
→企業局（土地造成、水道供給、電気、ゴルフ場・駐車場）
1993 年 4 月～ 総務部人事課主任
1997 年 4 月～ 土木建築部空港対策課航空企画係長（海外路線誘致）
→政策企画局情報政策室主任企画員
2001 年 4 月～ 権限移譲推進室（市町への移譲）→新過疎対策推進リーダー
2008 年 4 月～ 新過疎対策課長
2010 年 4 月～ 観光課長
2013 年 4 月～ 広島県東京事務所次長
2016 年 4 月～ 広島県大阪情報センター所長

尾道の中心市街地は、現在、人口約 1300 人の斜面地に 300 人以上の若い移住者が集積し勃興期にあり、今の尾道は空き家再生を通じたコミュニティ形成が斜面地への集積と商店街の活性化を促し、これが観光地として尾道の魅力向上を促進しています。望月氏の報告では、その集積のメカニズムについてもふれて頂きます。